

「埼玉県公立高等学校入学者選抜方法の改善について（素案）」
に対する御意見と県の考え方

- (反映状況の区分) A：意見を反映し、案を修正した
 B：既に案で対応済み
 C：案の修正はしないが、実施段階で参考としていく
 D：意見を反映できなかった
 E：その他

NO.	御意見の内容	意見数	県の考え方	反映
				状況
1 自己評価資料及び面接に関すること				
1	部活動が地域移行していくことから必要なことである。	2	面接は、受検生本人が作成した自己評価資料に書かれた内容確認や、学校内外での活動、意欲などを評価するために実施します。評価観点や評価規準に関しては、事前に公表し、周知してまいります。	B
2	これまで調査書により評価されていた部分が自己評価資料及び面接で評価されることはよいことである。	1		B
3	面接での客観的な評価をしてもらいたい。	17		C
4	自己評価資料の公正性を担保してもらいたい。	6		C
5	自分の言葉でうまく表現できる子ばかりではない。	5		C
6	受検生にとって自己評価資料の作成は負担であるのと同時に、自己評価資料の添削や面接指導など、中学校教員の負担が増える。	7	受検生が記入しやすい自己評価資料の様式を検討してまいります。教員に過度の負担がかかることのないよう、実施に当たり、具体的な業務軽減策を検討してまいります。	C
7	面接を行う高校教員の負担が増える。	7		C
8	障害のある生徒に対する合理的配慮を検討してもらいたい。	5	障害のある生徒に対しては、合理的配慮を行い、障害のあることにより差別的な取扱いにならないよう十分に留意してまいります。	C
9	希望する学校だけが面接を行えばよい。	9	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。	D
10	選抜は学力検査のみでよい。	6		D
11	自己評価資料は提出せず、面接を全員に実施する。	1		D

NO.	御意見の内容	意見数	県の考え方	反映状況
12	自己評価資料に部活動のことは記載させるべきではない	1	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。	D
13	自己評価資料には、実績を記載させるべきである。	1		D
14	自己評価資料の添削が必ず必要と考える。	1		E
15	自己評価資料や面接に関して検討材料が少ない。	3		E
16	入試は教職員の業務ではない。	1		E
17	教員が多忙化されるだけで、全く意味のない改善である。	1		E
18	面接に意義があるのか、面接が不安である。	2		E
19	以前の面接も実施しているだけであった。	1		E
2 特色選抜に関すること				
1	生徒たちの学ぶ意欲が高まり、生徒一人一人の特性に合わせてよい。	1	各学校の「入学者の受入れに関する方針」に基づいた選抜方法として、詳細については、今後の制度設計において検討してまいります。	B
2	各校のアドミッションポリシーにより適合する生徒の選抜をしてもらいたい。	1		C
3	特色選抜は制限を設けるべきである。	1		C
4	入学後の目的の変化があった場合、安定した高校生活が送れない可能性があることを考慮してもらいたい。	1		C
5	ますます教員の多忙化が進む。	1	教員に過度の負担がかかることのないよう、実施に当たり、具体的な業務軽減策を検討してまいります。	C
6	高校間の格差をますます広げ、高校間競争になる。	2	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。	D
7	公立高校の特色など知らない。	1		D

NO.	御意見の内容	意見数	県の考え方	反映
				状況
3 調査書に関すること				
1	調査書の記載内容は評定のみにするのは良い。	3	調査書の記載内容については、各教科の学習の記録（評定）の記載を基本とし、詳細については、今後の制度設計において検討してまいります。	B
2	外部検定の加点がなくなったのは高く評価する。	1		B
3	出欠席数は、引き続き記載してもらいたい。	2		C
4	総合的な学習の時間の評価の記載はあるべきである。	1		C
5	調査書の比重をもっと低くしてもらいたい。	1		C
6	多様な選抜判定基準を設定してもらいたい。	1		C
7	学校生活の様子（行動の記録）を調査書に記載すべきである。	2		D
8	各教科の学習の記録（評定）についても、学び方に関係なく適切に評価する方法を考えてもらいたい。	1		E
4 導入時期に関すること				
1	中学入学前に周知してもらいたい。	1	新しい入学者選抜方法について、生徒や保護者、学校等に御理解いただき、円滑に実施することができるよう、リーフレット等の作成・配布など、様々な機会を通じて、周知してまいります。	B
2	周知をしっかりと、努力した子が評価される入試にしてもらいたい。	1		C
3	準備期間が短すぎる。	1		C
5 その他				
1	不登校や発達障害の生徒への配慮をしてもらいたい。	2	不登校など配慮を要する生徒に対する対応については、今後の制度設計において検討してまいります。 障害のある生徒に対しては、合理的配慮を行い、障害のあることにより差別的な取扱いにならないよう十分に留意してまいります。	C

NO.	御意見の内容	意見数	県の考え方	反映状況
2	入試改善において、実技検査や小論文を実施する上で、各校に工夫を求めたい。その工夫の結果が高校教育の結果（大学進学）につながると思う。そのため、長く続く制度にしてもらいたい。	1	入学者選抜方法の改善における詳細については、今後の制度設計において検討してまいります。	C
3	公平な入試にするために、これまでの評価については、不透明なところが存在していたため、全ての点数を受検生に開示するべきである。	1		C
4	マークシート方式だと問題作成や採点業務の負担が増えるのではないか。	1		教員に過度の負担がかかることのないよう、実施に当たり、具体的な業務軽減策を検討してまいります。
5	D X化が保証されて業務軽減になったら、面接を含めて導入してもらいたい。	1	C	
6	マークシート方式を採用して教員の採点業務をなくし、生徒の指導をするべきである。	1	C	
7	D X化しても、学力検査の論述を増やしたり、業務日程を短縮したり、教員の業務負担を増やさないでもらいたい。	1	C	
8	推薦入試を設けてもらいたい。	4	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。	
9	学区制に戻してもらいたい。	2		D
10	業者テストを利用した高校入試にしてほしい。	2		D
11	一人複数校出願し、県内一斉テストで高校が生徒を選ぶ形にする。	1		D
12	英語スピーキングテストを行うべきである。	1		D
13	義務教育的な扱いにすべきである。全員高校入学。	1		D
14	現行の学力検査のままで、デジタル採点は実施可能なのか。	1		E
15	学校選択問題は継続されるのか。	1		E
16	通信制高校の受験や学習方法などの柔軟さが公立高校に取り入れられれば良い。	1	E	
合 計		1 2 2		